2022年5月期第2四半期 決算説明会

2022年1月26日

三光合成株式会社
［東証1部　7888］

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Ⅰ　会社概要

Ⅱ　2022年5月期第2四半期 連結決算概要

Ⅲ　2022年5月期 連結業績予想

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Ⅰ　会社概要

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

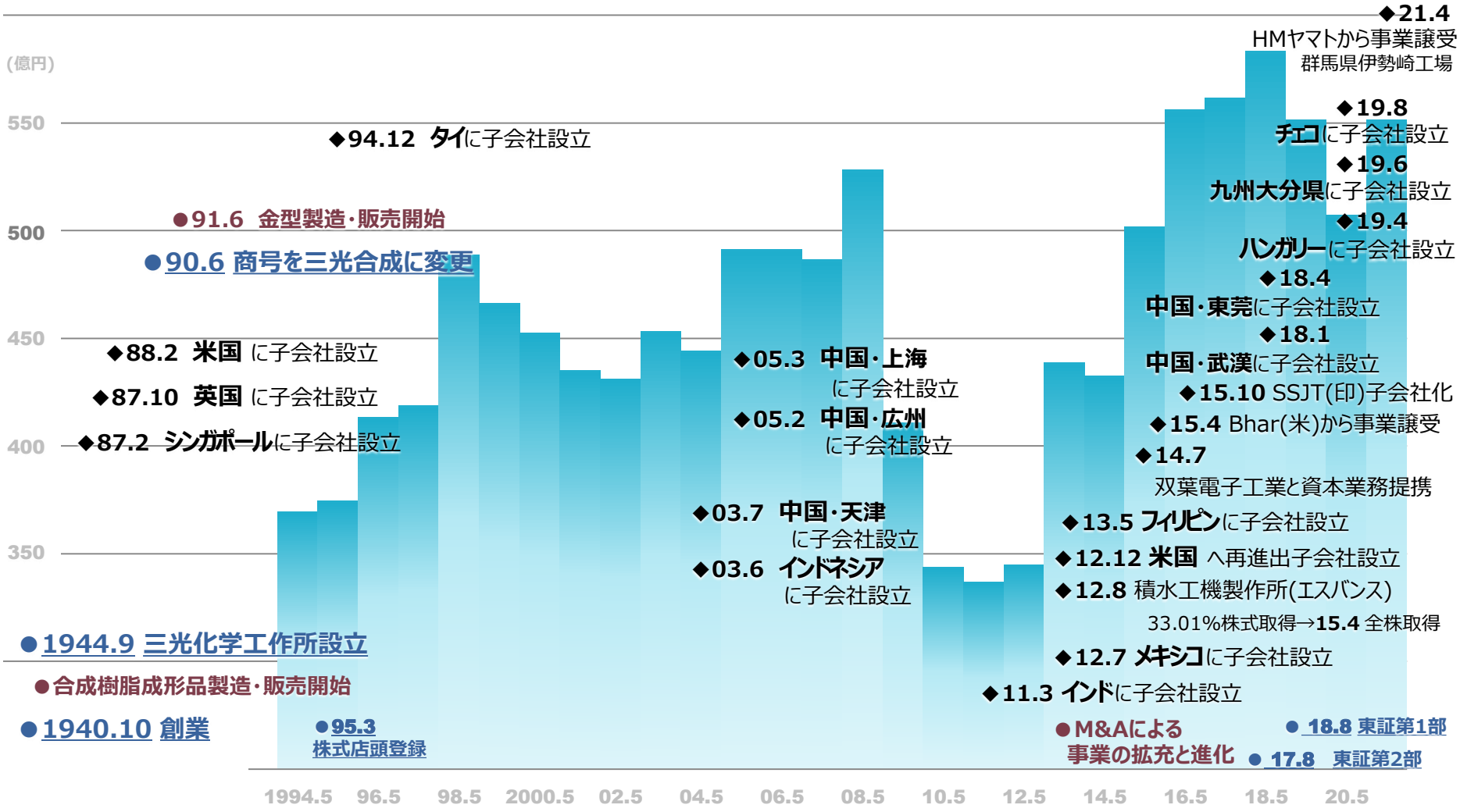
会社概要

社　　名	三光合成株式会社　（SANKO GOSEI LTD.）
代　表　者	代表取締役社長　黒田 健宗
本　　社	富山県南砺市土生新1200番地
資　本　金	4,008百万円
創　　業	1940年10月12日
設　　立	1944年　9月18日
従　業　員	単体：702名　連結：2,397名（2021年11月末現在）
事　業　内　容	■成形品事業 ・情報・通信機器部門 ・車両部門 ・家電その他部門 ■金型事業

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

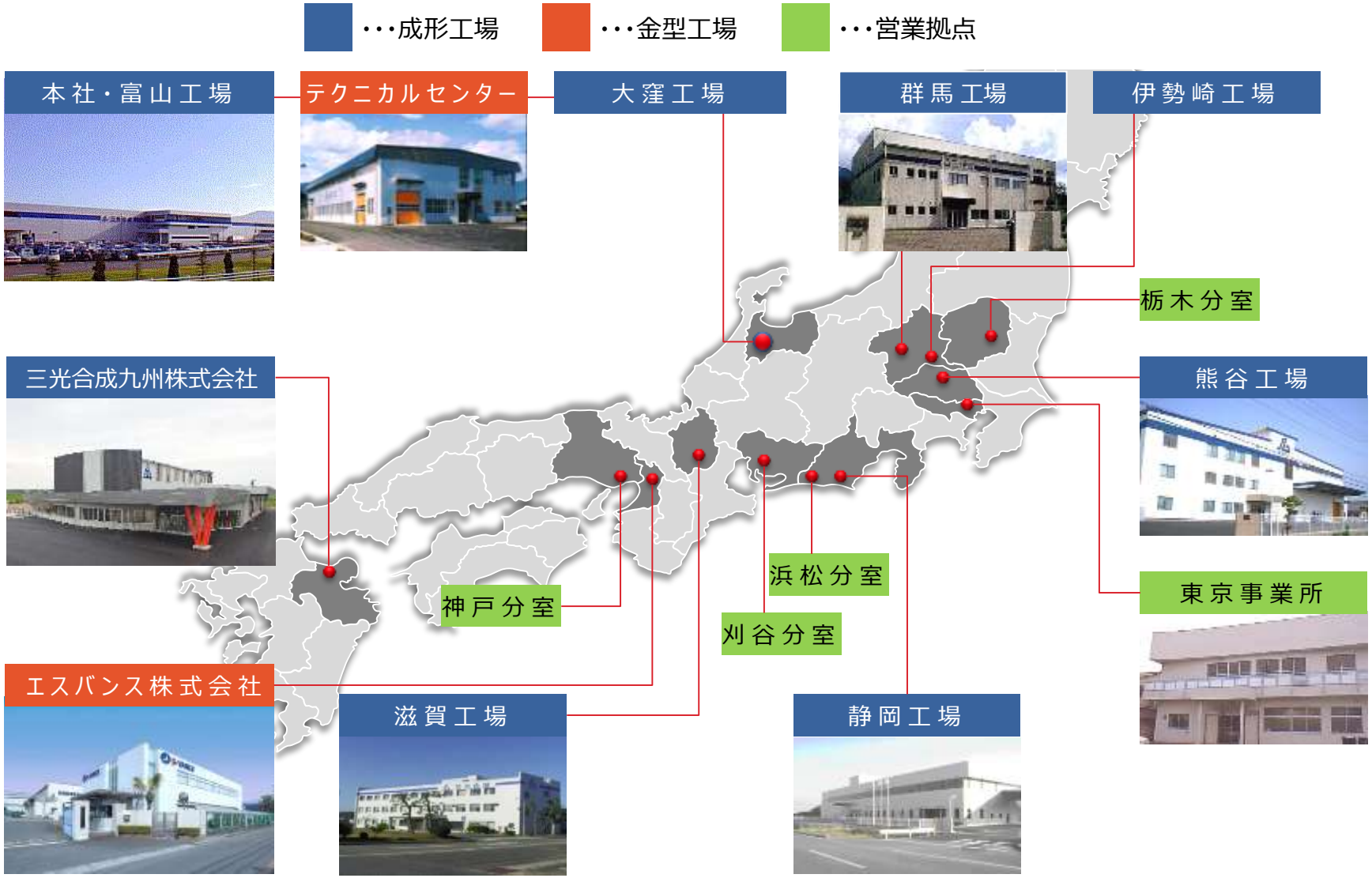
成長の軌跡 ｜ 車両・電子機器向け樹脂成形大手、海外売上過半

完成車メーカーのグローバル生産体制を支える不可欠な存在へ



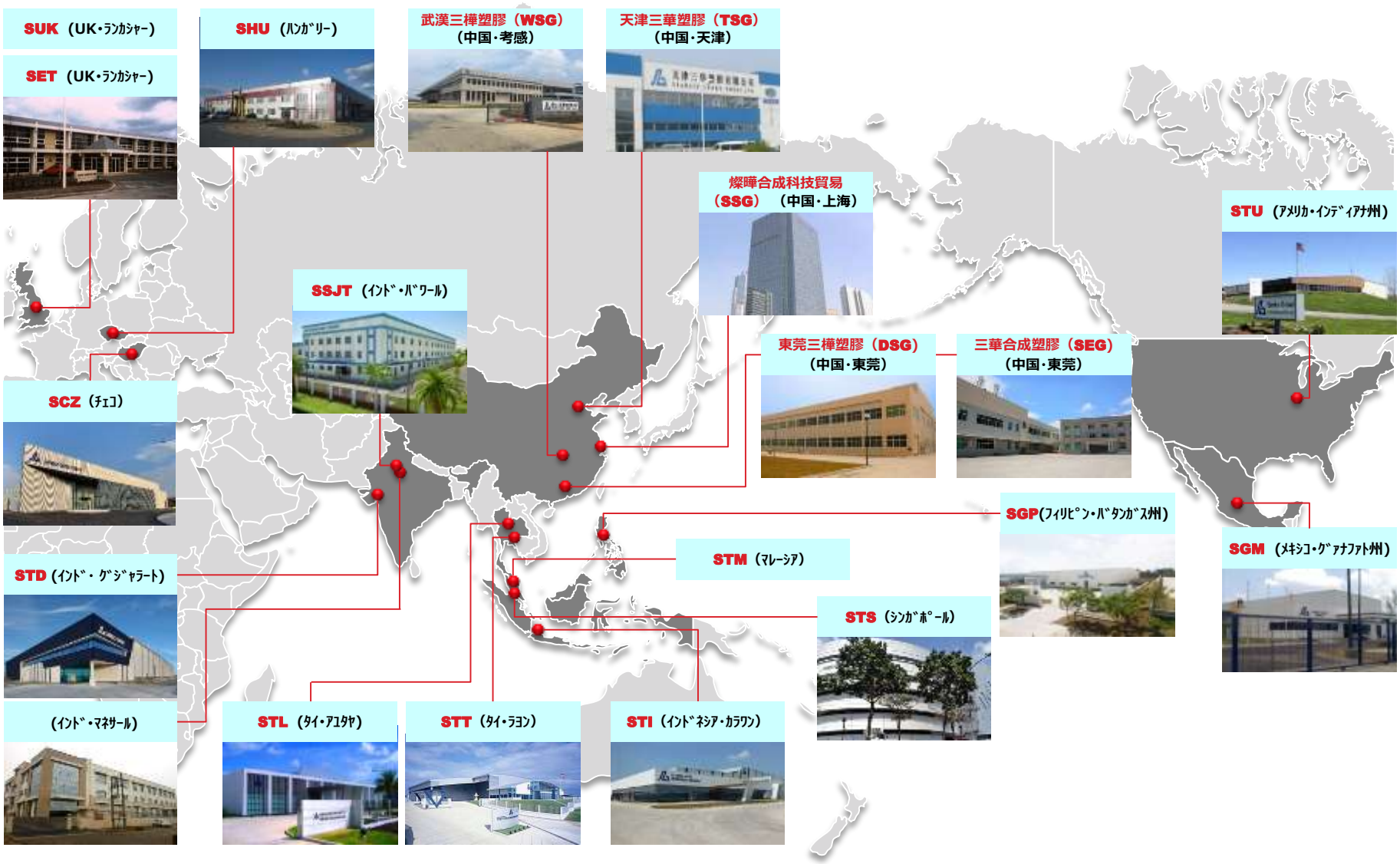
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

国内拠点 ｜ 成形8工場 金型2工場 営業所5拠点



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

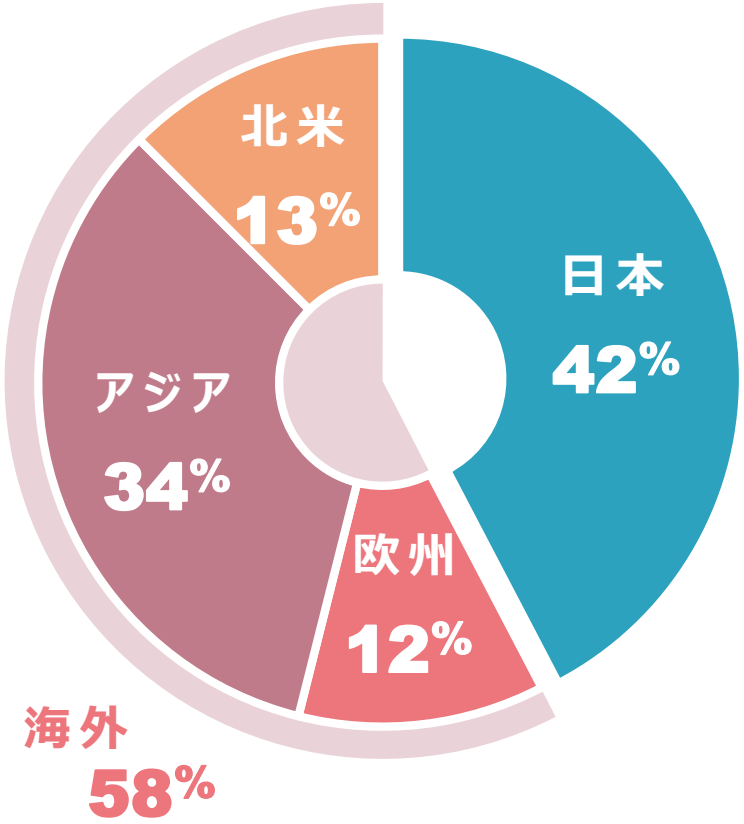
海外拠点 ｜ 12ヶ国／18法人



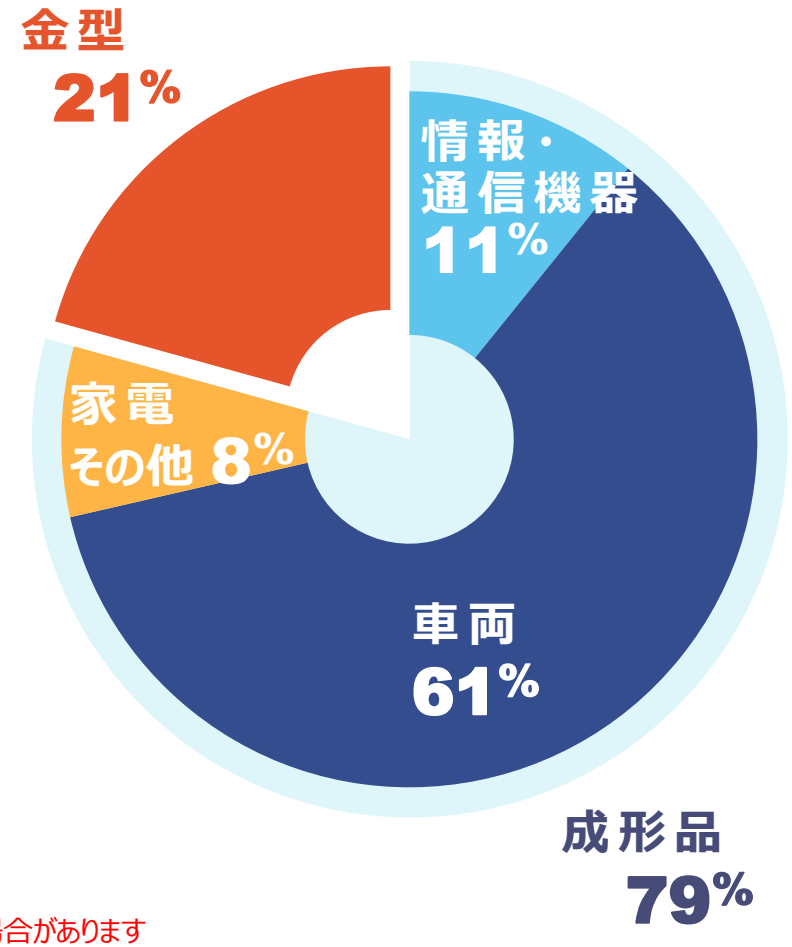
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

売上構成比 ｜ 2021年5月期実績

地域別



事業部門別



※本資料中では、構成比の数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

三光合成は・・・

完成機メーカーのグローバル生産に寄り添い、世界各地で最適部品を提供

主要グローバル拠点で金型設計・製造部門を内包
マザーツール（金型）を媒介にして、世界中で均一品質を提供

グローバル生産体制充実のために、新規拠点への投資を実施
投資フェーズから回収フェーズへ

高付加価値製品や金型の受注活動を積極化
安定した収益構造の確保と経営体質の強化

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

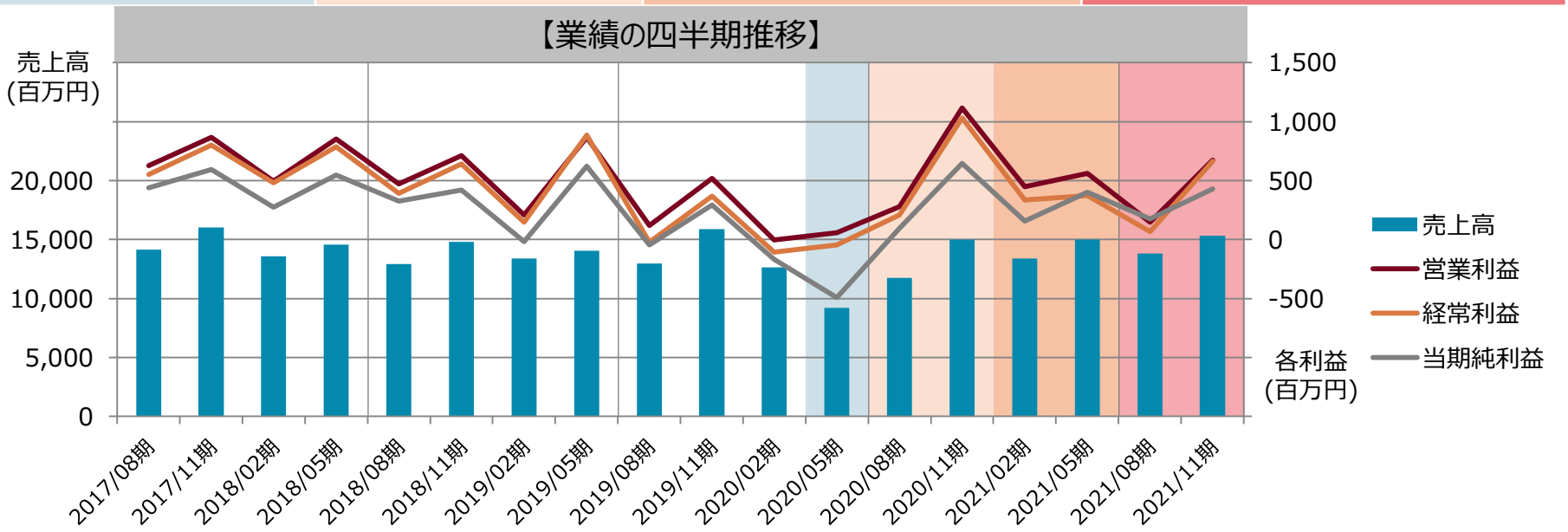
Ⅱ　2022年5月期第2四半期 連結決算概要

２０２１年６月１日～２０２１年１１月３０日

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響について

世界的拡大により 世界経済全体は大幅減速	一旦の落着きとともに 経済の回復	変異種を含めた 感染再拡大の波	
➢ 自動車メーカーのグローバでの減産・操業停止・生産活動停滞 ➢ 2020/3～5、当社工場も操業停止を実施	➢ 日本・欧州・米国の先進国で想定以上に早い回復 ➢ 2020/4～5を底に、徐々に生産再開 ➢ 2020/６～11までは、順調に想定以上の推移	➢ 2020/12頃から、半導体及び樹脂材料の不足、コンテナの問題が発生 ➢ 2021/5期３Qは失速 ➢ 金型は、開発の凍結・延期あるも影響は軽微 ・・・・・依然先行きは不透明な状況	依然先行きは不透明な状況の中 ➢ 東南アジア地域での回復が早く増収 ➢ 欧州はメイン顧客の撤退等により大幅な減収 ➢ 部品不足による断続的かつ突然の生産変更が重なり大胆な対応ができず利益を圧迫



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

2022年5月期第2四半期 決算総括

■ 新型コロナウイルス感染症の影響は依然と予断が許されない状況であり、世界的な半導体不足による自動車メーカーの減産や原料価格の高騰など不透明要因も存在
その中、高付加価値製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極推進

● 売上高	291億 88百万円	前年同期比	9.2% ⇧
● 営業利益	8億 25百万円	前年同期比	41.0% ⇩
● 経常利益	7億 32百万円	前年同期比	40.8% ⇩
● 当期純利益	6億 10百万円	前年同期比	18.0% ⇩

■ 地域別売上高

日本	前年同期比	5.2% ⇩	117億 74百万円
欧州	前年同期比	24.1% ⇩	25億 58百万円
アジア	前年同期比	44.2% ⇧	109億 20百万円
北米	前年同期比	16.6% ⇧	39億 34百万円

■ 事業部門別売上高

成形品	前年同期比	12.8% ⇧	227億 11百万円
金型	前年同期比	1.8% ⇩	64億 77百万円

※本資料中では、「当期（又は四半期）純利益」の表記は「親会社株主に帰属する当期（又は四半期）純利益」を意味します

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

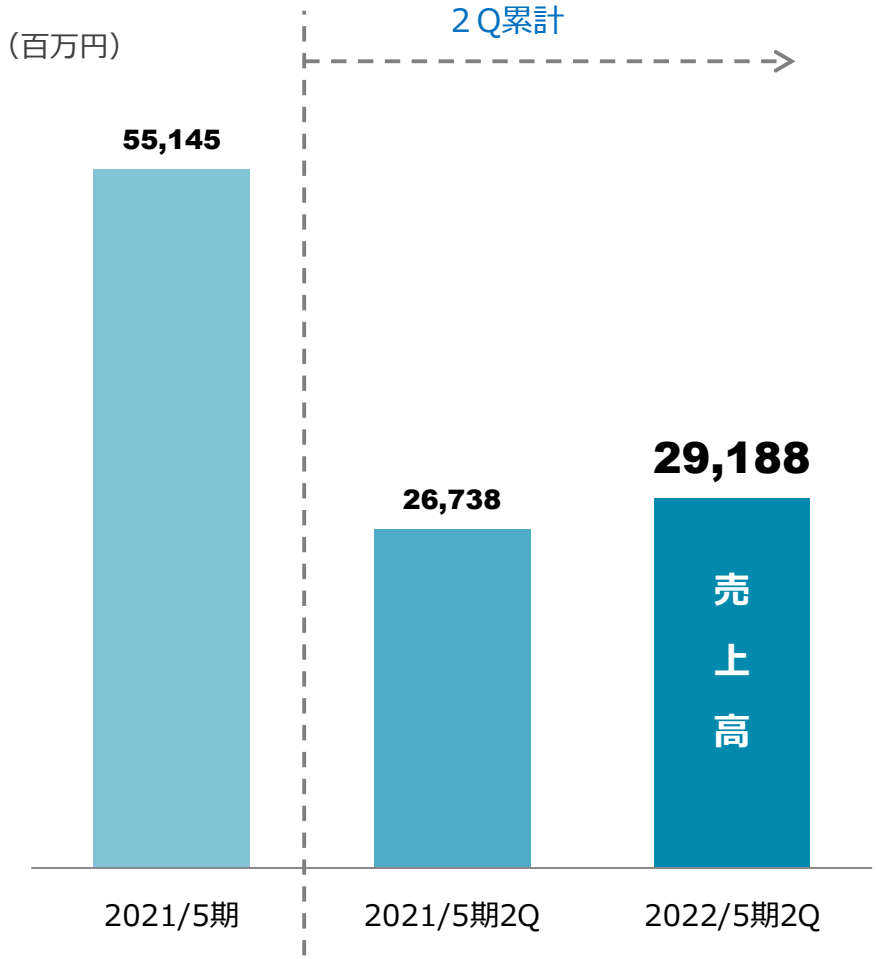
2022年5月期第2四半期 損益状況

	2021年5月期 第2四半期実績		2022年5月期 第2四半期実績					
					前年同期比		対通期業績予想、進捗	
	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	通期業績予想 2021.7.14修正 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	26,738	―	29,188	―	+2,450	+9.2	*60,000*	*48.6*
売上原価	22,415	83.8	25,085	85.9	+2,670	+11.9	―	―
売上総利益	4,322	16.2	4,103	14.1	▲219	▲5.1	―	―
販管費	2,923	10.9	3,278	11.2	+355	+12.1	―	―
営業利益	1,399	5.2	825	2.8	▲574	▲41.0	*2,900*	*28.4*
経常利益	1,238	4.6	732	2.5	▲506	▲40.9	*2,700*	*27.1*
四半期純利益	744	2.8	610	2.1	▲134	▲18.0	*1,800*	*33.9*

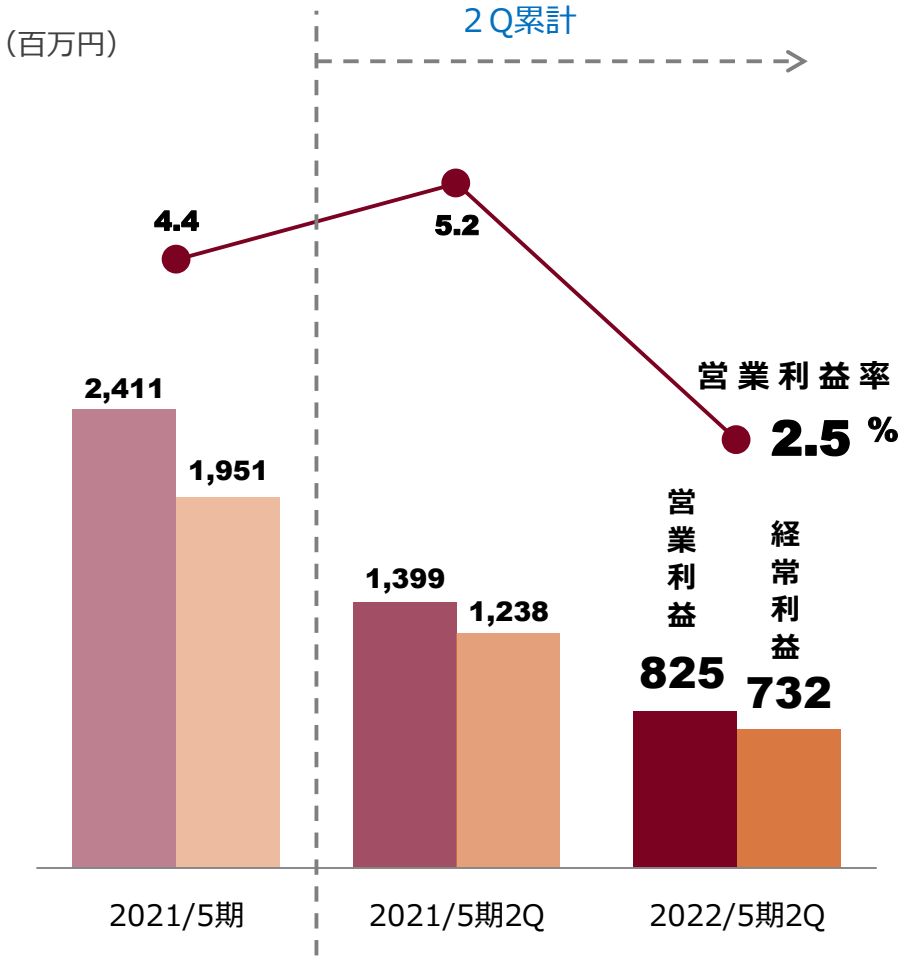
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

売上高・営業利益・経常利益の推移

売 上 高



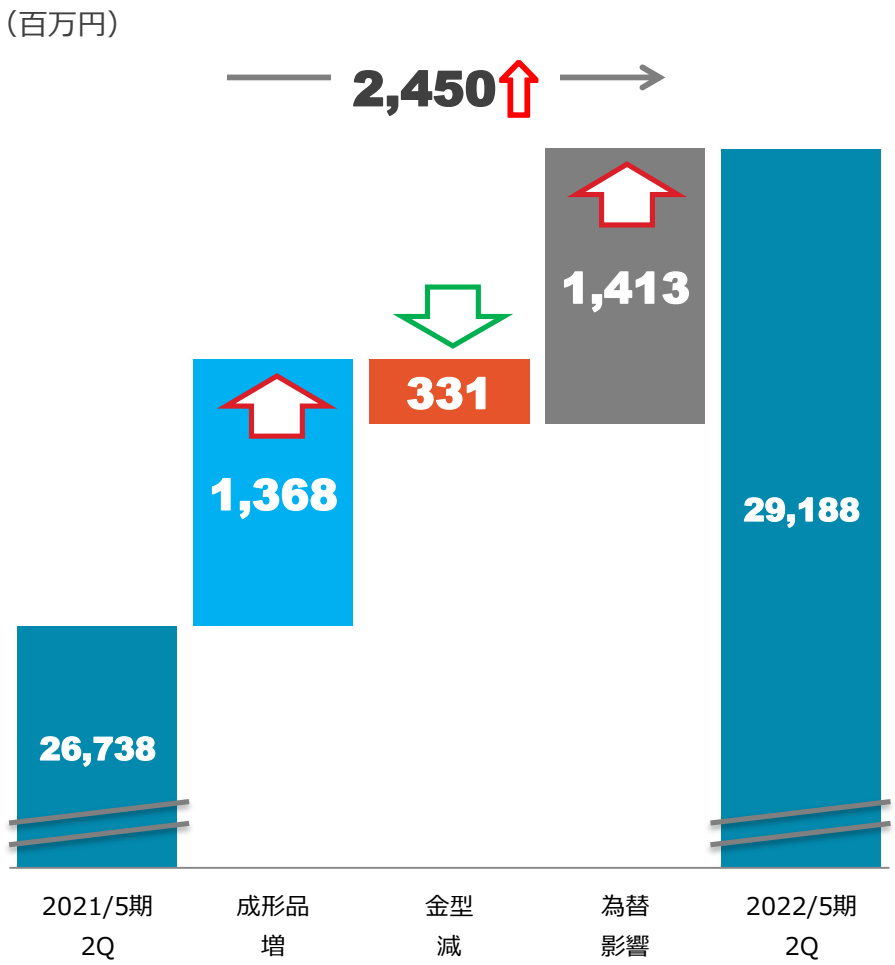
営業利益・経常利益／営業利益率



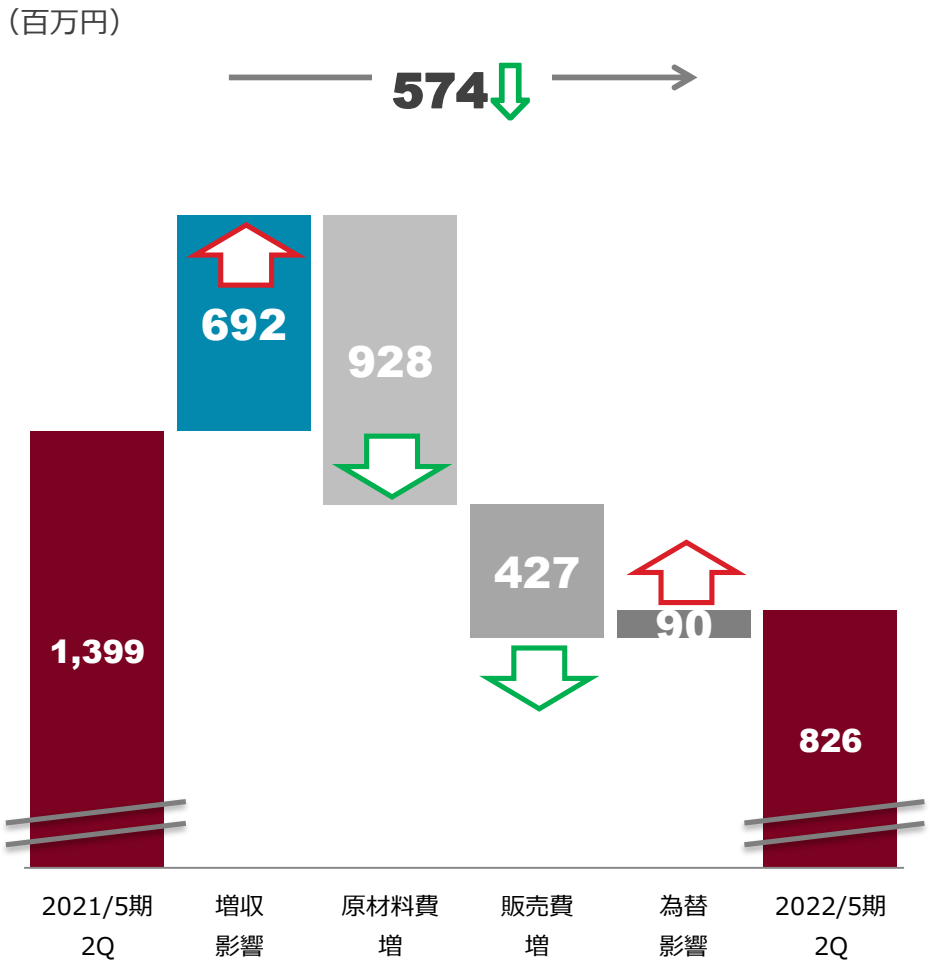
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

売上高・営業利益の増減要因分析

売上高



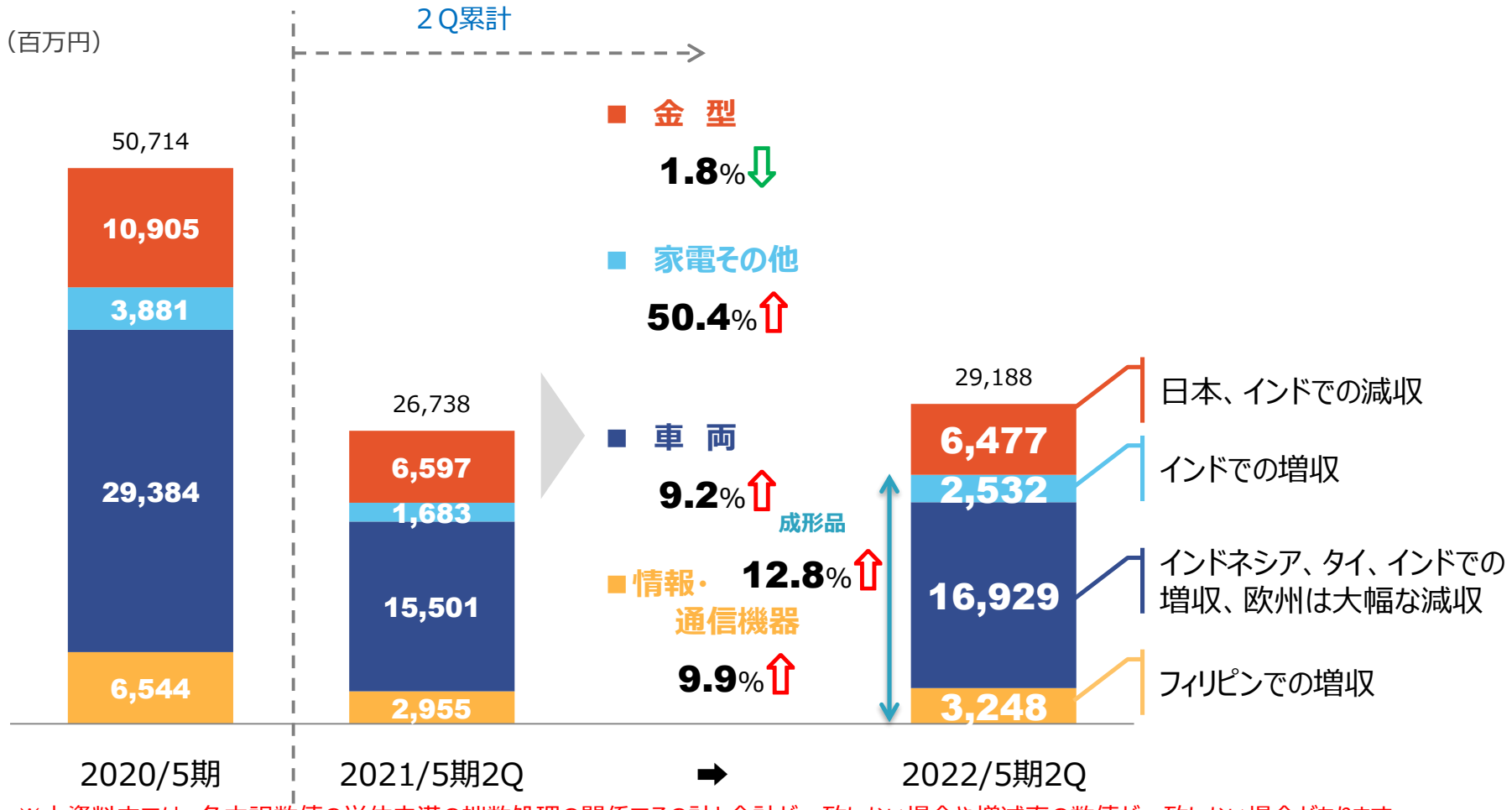
営業利益



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

事業部門別売上高の推移

事業部門別売上高

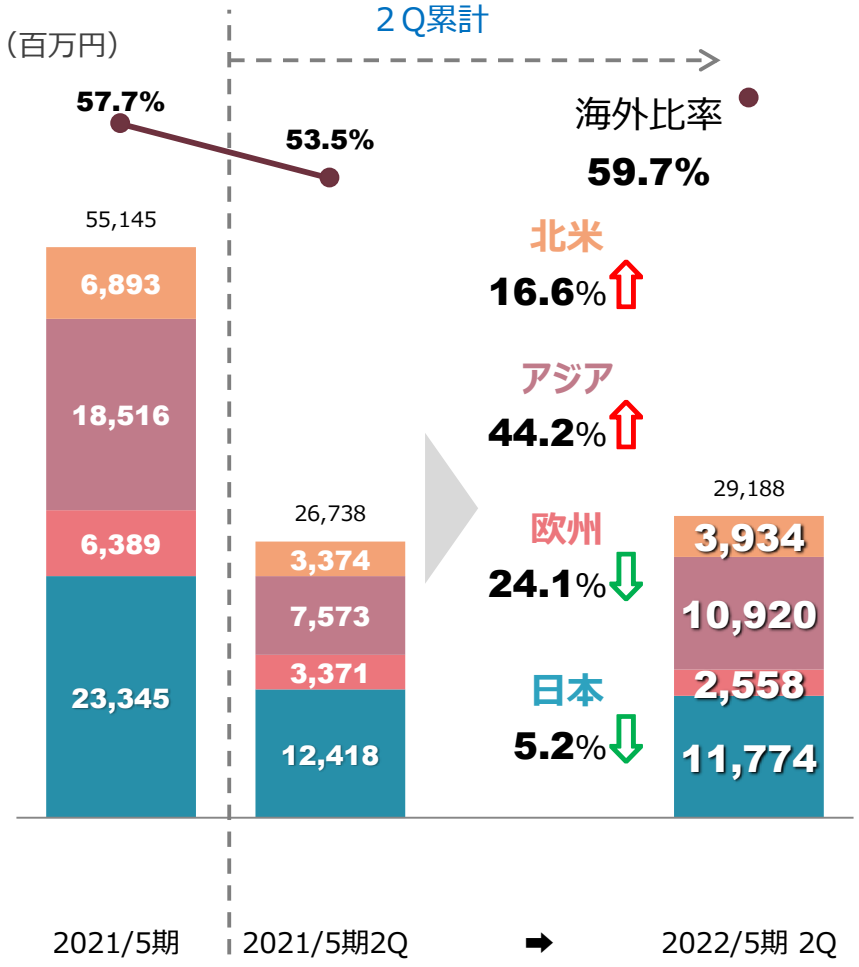


※本資料中では、各内訳数値の単位未満の端数処理の関係でその計と合計が一致しない場合や増減率の数値が一致しない場合があります

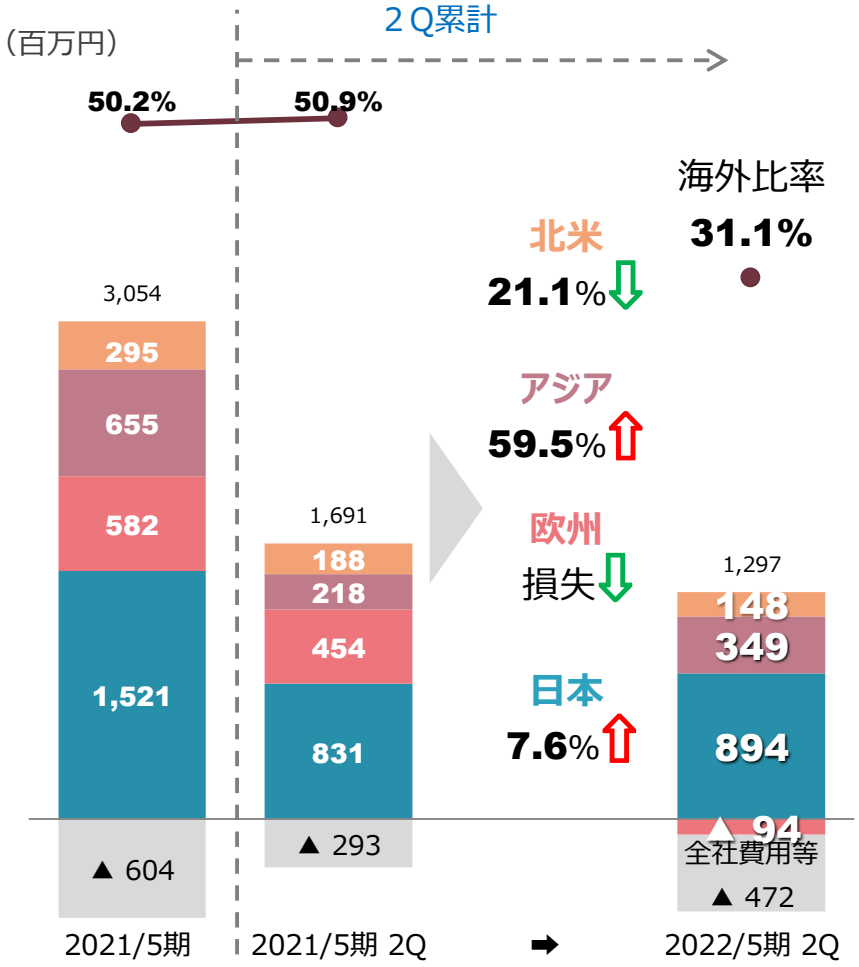
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

地域別売上高・営業利益の推移

地域別売上高／海外比率



地域別営業利益／海外比率



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

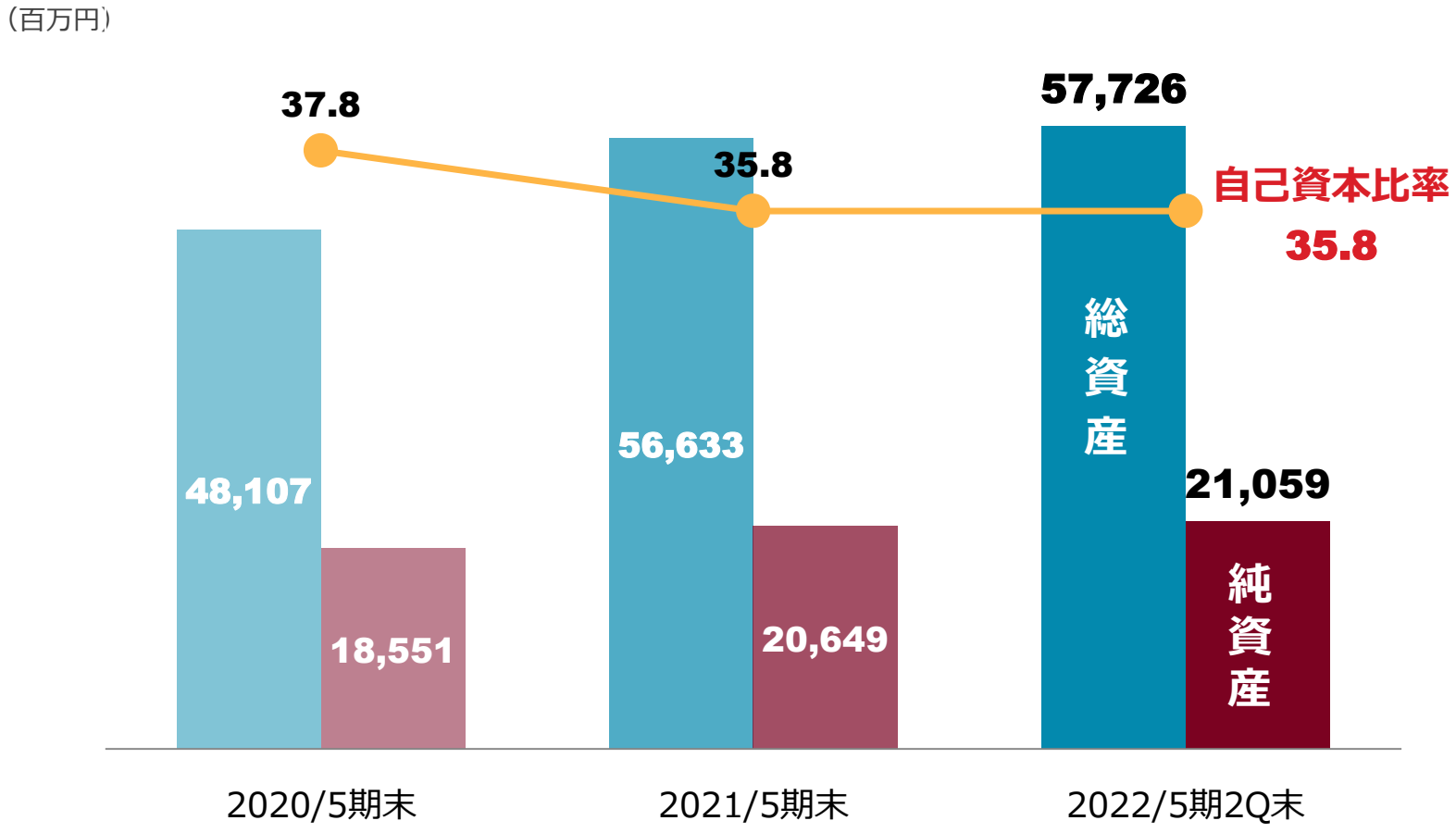
2022年5月期第2四半期 財務状況

	2021年5月期末 2021.5.31		2022年5月期第2四半期末 2021.11.30				
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額／主な増減要因 (百万円)		
■流動資産	30,457	53.8	31,587	54.7	+1,130	受取手形・売掛金	+708
■固定資産	26,176	46.2	26,139	45.3	▲37		
資産合計	56,633	100.0	57,726	100.0	+1,093		
■流動負債	23,481	41.5	23,865	41.3	+384	短期借入金	+504
■固定負債	12,501	22.1	12,801	22.2	+300		
負債合計	35,983	63.5	36,666	63.5	+683		
純資産合計	20,649	36.5	21,059	36.5	+410	利益剰余金	+397
負債純資産合計	56,633	100.0	57,726	100.0	+1,093		

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

財務状況の推移

総資産・純資産／自己資本比率



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

2022年5月期第2四半期 キャッシュ・フロー状況

	2021年5月期第2四半期	2022年5月期第2四半期		
	(百万円)	(百万円)	主なキャッシュ・インフロー／アウトフロー(百万円)	
■営業活動によるキャッシュ・フロー	1,568	610	税前四半期純利益 減価償却費	＋ 855 ＋1,499
■投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,172	▲896	有形固定資産取得	▲1,489
フリー・キャッシュ・フロー	396	▲286		
■財務活動によるキャッシュ・フロー	▲189	158	短期借入金純増 長期借入金借入 長期借入金返済	＋ 451 ＋1,500 ▲1,049
現金及び現金同等物の増減額	＋343	▲198		
現金及び現金同等物の期首残高	7,499	8,079		
現金及び現金同等物の期末残高	7,842	7,881		

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Ⅲ　2022年5月期 連結業績予想

２０２１年６月１日～２０２２年５月３１日

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

2022年5月期 業績見通し｜（変更なし）過去最高を更新、2期連続増配も

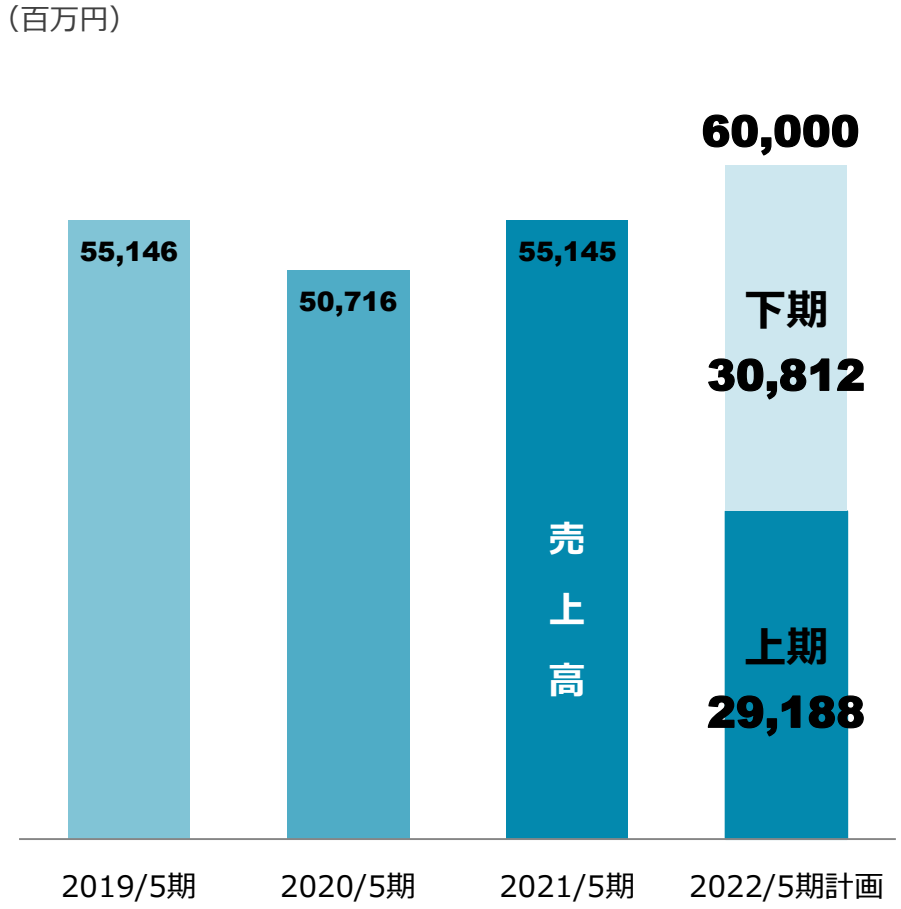
■新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、また米中問題等の影響により、引き続き予断を許さない状況が続くと思われるものの、より付加価値の高い製品や金型の受注活動を積極的に行うとともに、安定した収益構造の確保と経営体質の強化を図る

	2021年5月期 通期実績		2022年5月期 通期計画			
					前期比	
	金額（百万円）	売上高比（%）	金額（百万円）	売上高比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
売上高	55,145	－	60,000	－	+4,855	+8.8
営業利益	2,411	4.4	2,900	4.8	+489	+20.3
経常利益	1,951	3.5	2,700	4.5	+749	+38.4
当期純利益	1,302	2.4	1,800	3.0	+498	+38.2
1株当たり当期純利益	42.72円	－	59.05円	－	+16.33円	－
1株当たり配当金	11.00円	－	14.00円	－	+3.00円	－

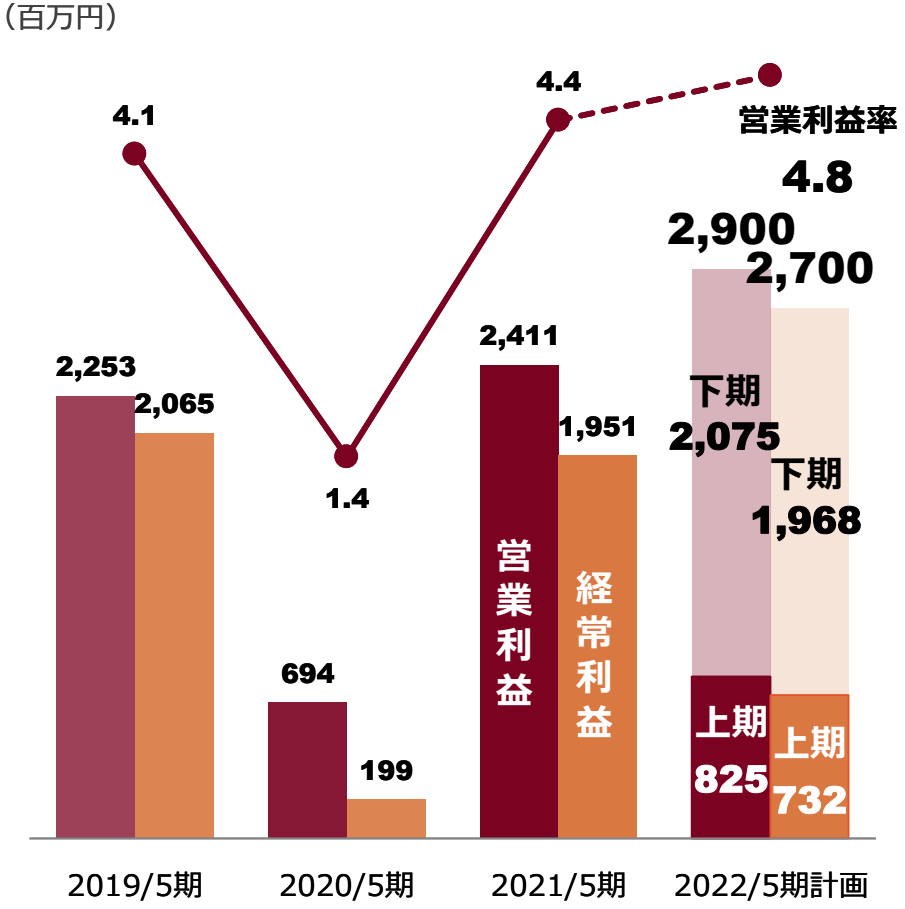
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

売上高・営業利益・経常利益の見通し

売 上 高



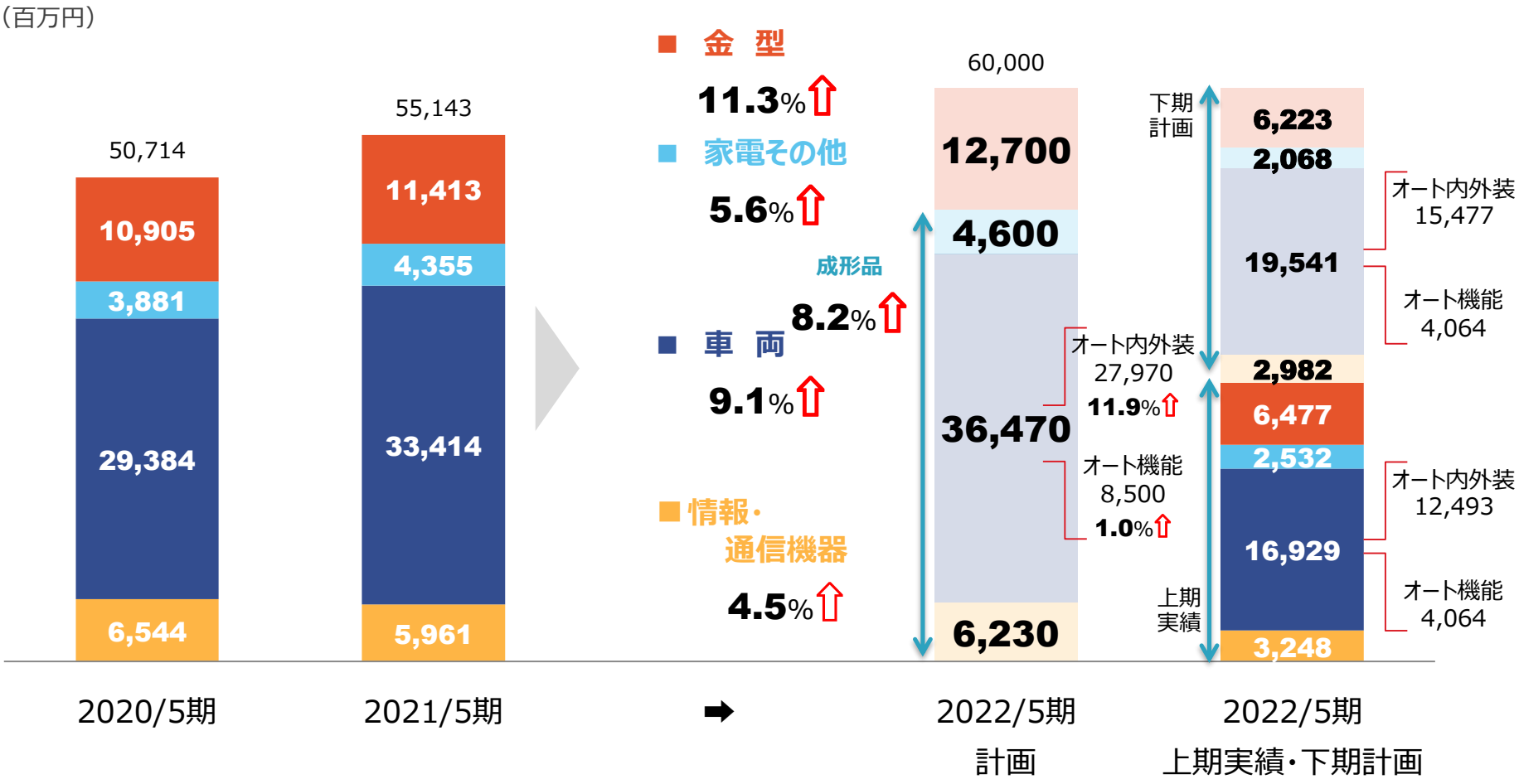
営業利益・経常利益／営業利益率



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

事業部門別売上高の見通し

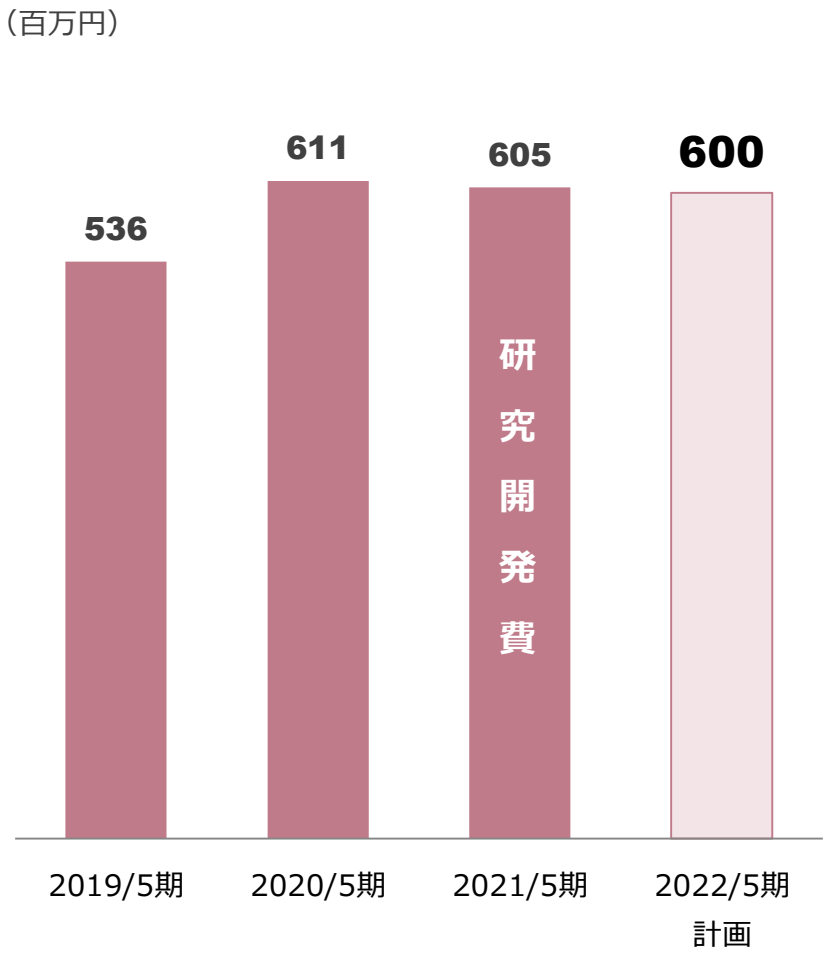
事業部門別売上高



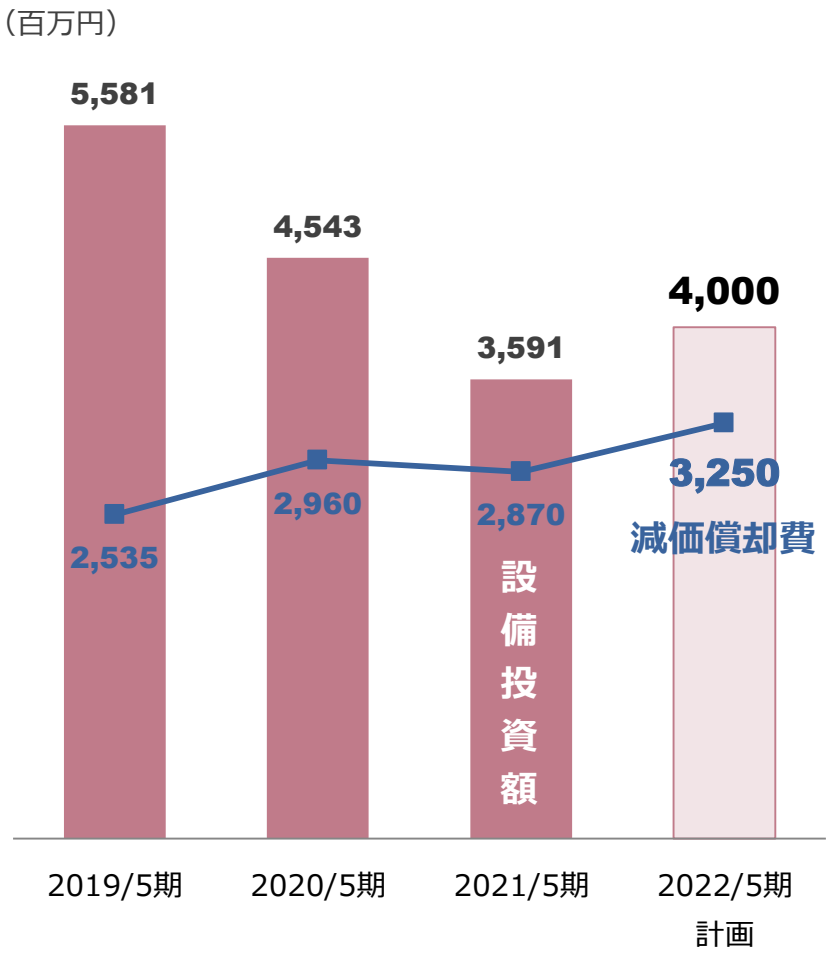
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

研究開発費、設備投資額・減価償却費の見通し

研究開発費



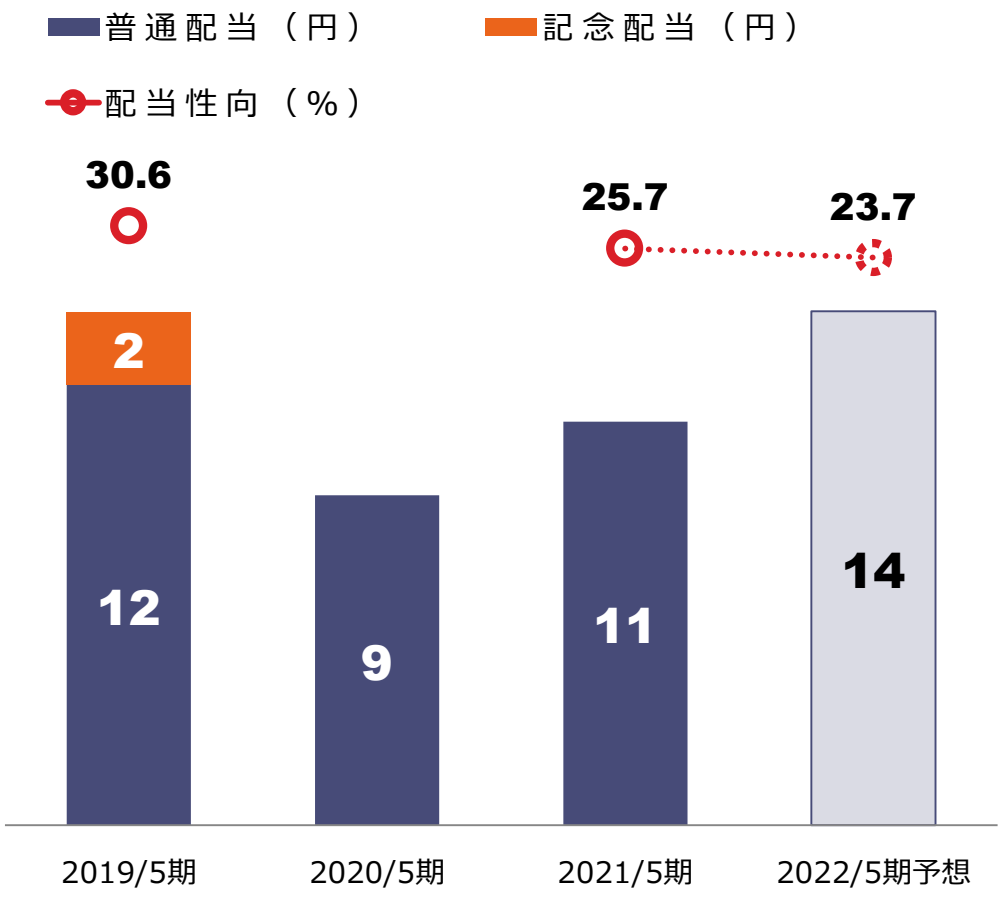
設備投資額・減価償却費



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

株主還元

年間配当金の推移



配当基本方針	安定的な配当を継続していくと同時に、業績に応じ積極的に株主に還元
内部留保資金	競争力の維持・強化や経営基盤拡充のため、設備投資や開発活動に充当

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

2022年5月期の取組み｜安定収益構造確保と経営体質強化を図る

製品や金型などの設計事業を強化	国内外の自動車メーカーの車両部品設計ニーズに対応
設計者60人 ⇒ 100人増強、 インドや東南アジア、中国、日本などで採用拡大	

「テクニカルセンター」の連携強化	「グローバルテクニカルセンター」へ
製品設計と省力化機器の推進	

プラスチック100%リサイクルに向け専門組織を新設	環境意識高い欧米での事業拡大へ
プラスチックの廃材や不良品のリサイクル推進によるコスト削減も図る	

メカトロ（省力化機器）部門の強化	省人化、生産性向上、安定した品質
ケタ違いの合理化を検討し実現させていく	

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic1｜次世代車（電気自動車・自動運転）への対応(1)

世界規模で次世代車へのシフトが進行

この転換期は、従来車（ガソリン・HV）と次世代車の開発が重なり、
車種の増加に加え、完成車メーカーの技術陣は、
安全機能や軽量化等の開発で
人的リソースが不足

内外装樹脂部品の
製品設計は、
部品メーカーへ依存

開発機種の増大で
金型の需要が高まる

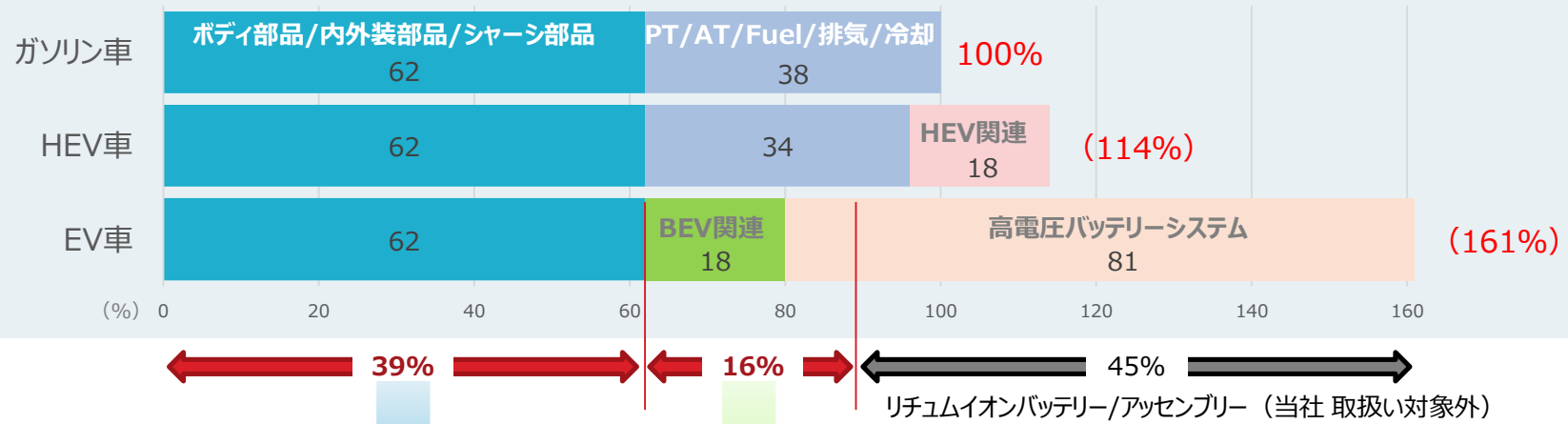
新たな車載機能部品
（バッテリー部品等）が求められ、
しかも
軽量化（＝**樹脂化**）のニーズが高い

◆ 製品設計60名を100名へ増強
◆ 日本・インドでの金型生産拠点は確立済み
◆ 次世代営業部主導でのEV部品樹脂化を提案

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic1｜次世代車（電気自動車･自動運転）への対応⑵

■部品構造比較



■当社のターゲット

創業以来の蓄積技術で対応
＋
EV化の要求性能への対応

バッテリー周辺部品開発で鍛えた技術で対応　20年の実績

チャージリッド

（イメージ）

チャージリッドGRAN

高電圧系接続部品

バスバー

端子固定台　バスバーホルダー

高電圧系樹脂部品

バッテリーケースカバー

バッテリーセパレーター

ジャンクションBOX

冷却ダクト

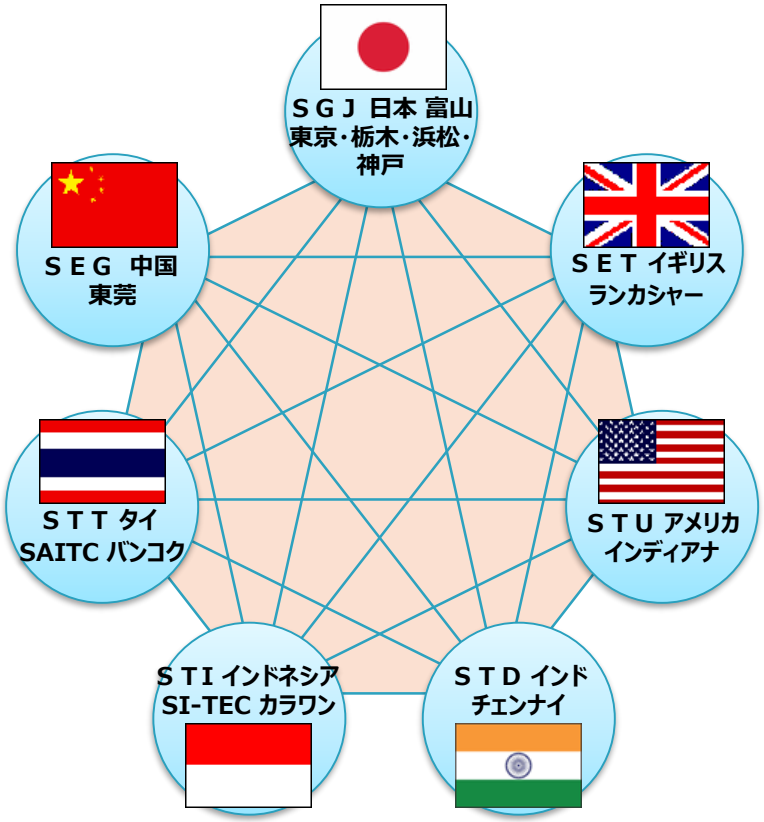
バッテリーモジュールケース

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

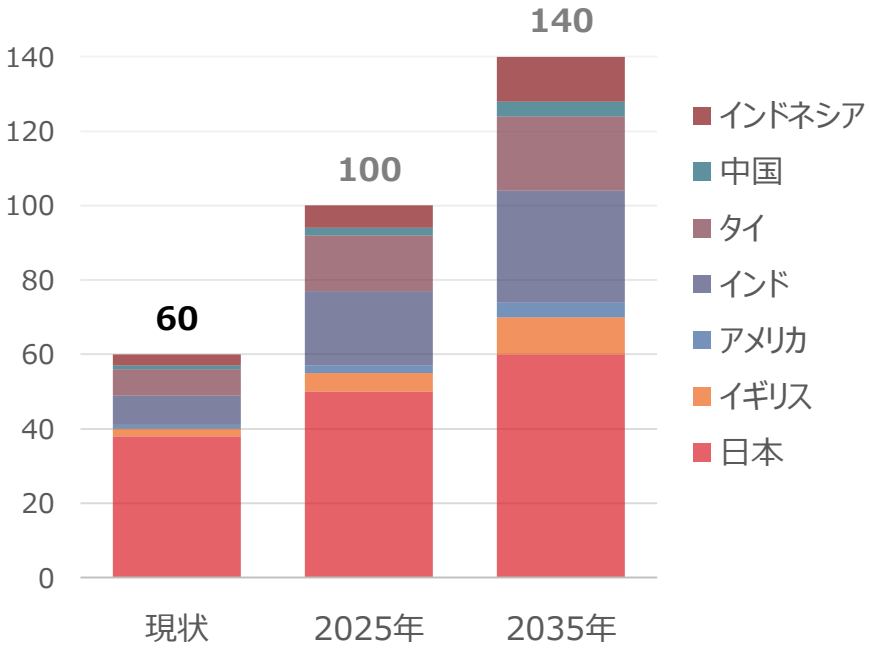
Topic2｜事業のソフト化＿R&D部門･･･製品設計

■グローバルテクニカルセンター構想|

製品設計を備えるテクニカルセンターはグローバルで7拠点
それぞれの拠点での独立性を保ち海外の拠点に対する役割を持つことでネットワークを築く



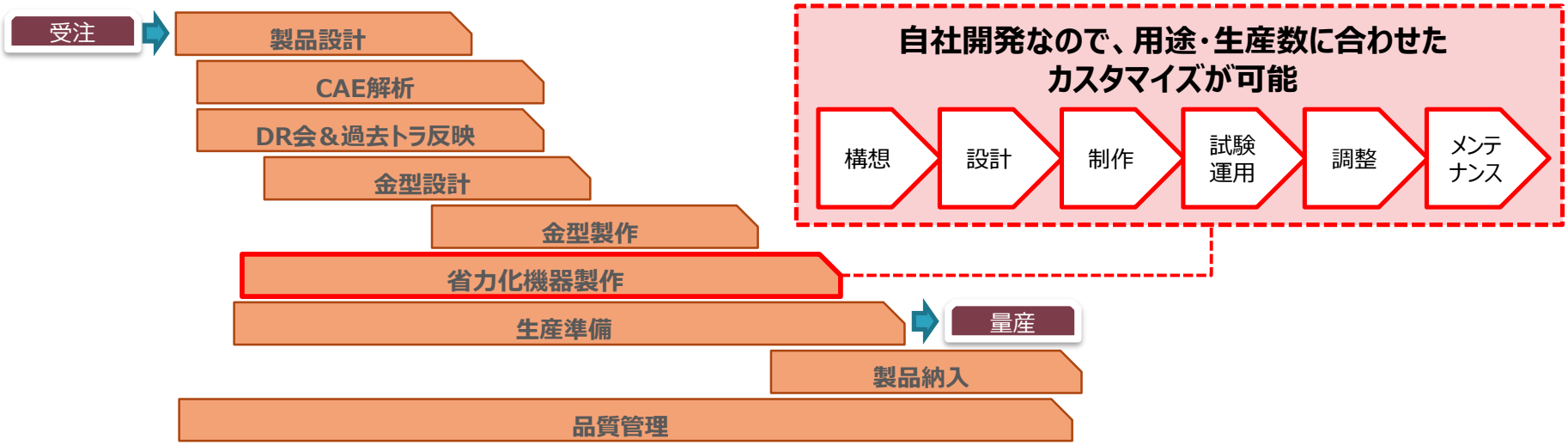
グローバル製品設計要員 現状と 2025/2035 展望
各地域で 需要と時代を読み 要員を増強していく



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic3｜事業のソフト化＿メカトロ部門・・・省力化機器・自社開発

■省人化、生産性向上、安定した品質を実現



用途・生産数・予算に合わせた設備を低コストで導入可能

《検査機》

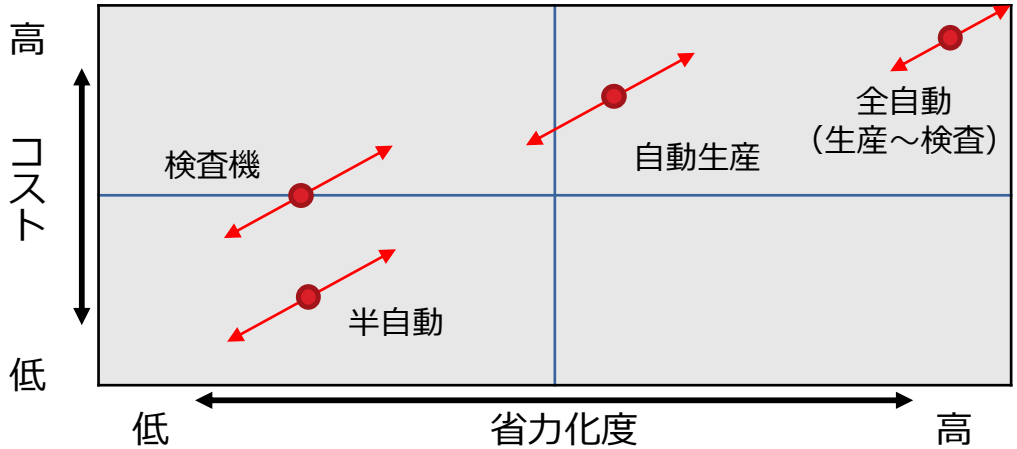
特徴：
① 色/形状/欠品の判別が可能
② 検査レベルに合わせレベル調整
③ 検査工程での抜けを防止

使用例：ナットの圧入など

《半自動》

特徴：
① サイクルタイム短縮
② 作業者の負担軽減
③ 作業の安定化

用例：品種判別、異物混入検査など



《全自動》

特徴：
① ハイサイクル
② 画像検査
③ 自動梱包

使用例：飲料キャップ生産工程など

《自動生産》

特徴：
① 高精度の要求に対応
② 製品取出、金具の供給
を自動化し、無人生産

使用例：金具インサート生産工程など

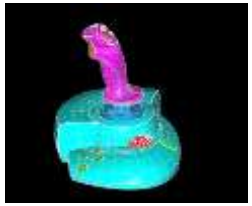
Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic4｜事業のソフト化＿『テックショップ』

■自社の技術情報を公開、モノづくりのノウハウを販売する専用の技術情報サイトを開設

従来

［製品設計］
プラスチック部品が製造できるような設計にしたい



デザインデータ（客先より）

<従来>
ものづくりノウハウ
は秘匿

部品として製造できる図面に展開
（ものづくりノウハウを入れた設計情報）
→設計図面、モデル（販売）

三光合成

金型・成形
ノウハウ

新規

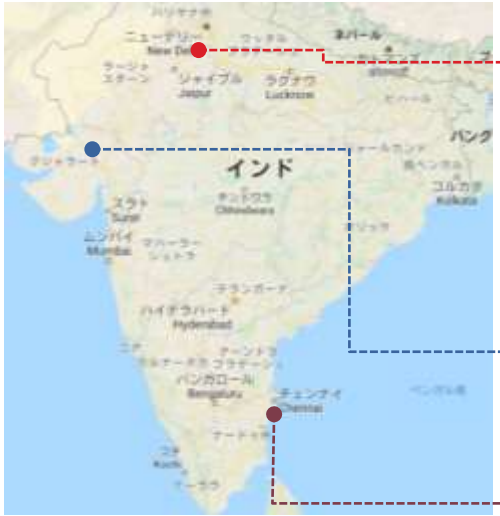
［プラスチック部品製造］
プラスチック部品を製造したい

ソフト化

具現化ノウハウ
（販売）

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic5｜インドでのビジネスの状況



SANKO SVANCE JRG TOOLING INDIA PVT LTD.
｜ハリアナ州バワル
Tool room (Injection mold maker) ｜金型

SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
< Haryana Office > ｜ハリアナ州バワル
Parts supply for Home appliance｜家電向け樹脂部品 販売

SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
< Gujarat Factory> ｜グジャラート州マンダル
Injection molding for Automotive & Home appliance
｜自動車･家電向け 樹脂部品 製造販売

SANKO GOSEI TECHNOLOGY INDIA PVT LTD.
< Chennai Office > ｜タミルナードゥ州チェンナイ
Design center｜設計事務所

インドの成形会社（STD）

売上高、前年同四半期比倍増
自動車関連の受注が好調
空調機器（エアコン）も3倍増

インドの金型会社（SSJT）

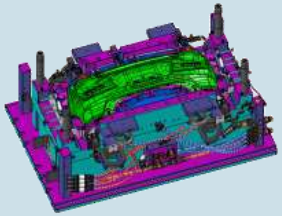
売上高、前年同四半期比微増
自動車のバンパー金型の製作実績ができ、
今後は、バンパー金型の継続受注と共に、
インパネ金型の製作に取り組む

インドでの設計

現在、
製本設計対応者は8名
非常に高いスキルを備えた人材が多い

⇩

今後、
インドでの設計者を大幅に増加させていく構想



Copyright © SANKO GOSEI LTD.

■富山県SDGs宣言

基本理念「自然との調和に努める」｜私たちは、当社の製品が全世界で使用されているという認識のもとに、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮し、改善を継続する事業活動を行います。

取組目標
社員のモラル向上、精神面鍛錬、そしてお客様へのおもてなしにつながる活動の継続

Action

全員参加のトイレ掃除

海外、国内各工場において
経営層から社員まで全員参加のトイレ清掃で
世界一綺麗なトイレを目指す。

取組目標
プラスチック製品や樹脂材料を海や陸に廃棄しない

Action

成形不良品のリユース

廃棄向け樹脂製品を粉砕し
再生樹脂材料として使用しリユース率を高めていく。
最終処分場までのトレーサビリティにより
ライフサイクルの視点で責任を持つ。

取組目標
人権を尊重し、社員のダイバーシティを推進

Action

ダイバーシティを推進

女性、高齢者、障がい者、外国人の柔軟な雇用と
働きやすい職場環境を維持改善する。

■カーボンニュートラルに向けた取り組み

① 日常改善による省エネを推進します。
② 再生可能エネルギーを活用します。
③ 生産技術の開発、導入による省エネを推進します。
④ 樹脂材料、リユース、リサイクルを推進します。
⑤ 不良率低減を含む廃棄物削減を目指します。
⑥ 工場および関連施設の緑地化を推進します。

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Topic7｜東証新市場区分『プライム市場』申請

■プライム市場の全基準を充足。2021年12月24日決議

流動性	株主数	7,316人
	流通株式数	232,505単位
	流通株式時価総額	10,276,344,264円
	売買代金	186,435,672円
ガバナンス	流通株式比率	75.7%

Copyright © SANKO GOSEI LTD.

Disclaimer

このプレゼンテーションで述べられている三光合成株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

Copyright © SANKO GOSEI LTD.